

東岡崎駅(北口・南口) 再開発計画について

名古屋鉄道は、東岡崎駅の北口および南口周辺を対象エリアとした一体的な再開発を行います。

東岡崎駅は、当社線における西三河地区最大のターミナル駅として通勤・通学で多くのお客さまにご利用いただいています。また、周辺には岡崎市役所などの行政機関が立地するほか、岡崎城や大樹寺など豊富な歴史的資産が存在しています。

本事業は、名鉄グループ中期経営計画「Turn-Over 2023」で掲げる「グループ一体となった沿線・地域の活性化」の一環として取り組むものであり、今後は2021年11月に岡崎市と締結した基本協定に基づき、同市が主導するQURUWA戦略[※]と連携した街へ開かれた施設計画を策定していきます。

詳細は、下記のとおりです。

※QURUWA 戦略

乙川リバーフロント地区内の豊富な公共空間を活用した公民連携プロジェクト。まちの活性化(暮らしの質の向上・エリアの価値向上)を図る戦略のこと。

記

1. 再開発計画コンセプト

ス イ ン グ ヒ ガ オ カ
「SWING HIGAOKA」 —この街の躍動的なリズムをリードする—

※ SWING…ジャズ用語。ジャズ特有の躍動的なリズム感。また、そのリズムに乗ること。

岡崎市には、世界的に類を見ない貴重なジャズレコード、雑誌、オープンリールテープなどが所蔵されており、また、国内有数のジャズイベントが開催されるなど「ジャズの街」として広く知られています。

「SWING(スイング)」が持つポジティブな意味合いを踏まえながら、同市が取り組む一連のまちづくり戦略と連携し、本計画を通して駅施設を起点とした躍動的なリズム(人の流れ)を作り出し、地域の個性を引き立てます。

また、コロナ禍によって大きく変化するお客さまの消費行動ニーズを捉え、岡崎の玄関口として賑わいを創出し、地域一体になったまちづくりを推進していきます。

【施設完成予想図(イメージ)】



北口新駅ビル(北西より俯瞰)



南口ビル(南東より俯瞰)

2. 再開発計画の方針および概要

(1) 計画エリア図



(2) 方針

北口

第一種市街地再開発事業の施行を予定し、現在の駅ビル(岡ビル)の解体後、駅利用者および来街者をターゲットとした商業機能および、駅につながる利便性の高い事務所機能を有する複合施設を整備するほか、バスターミナルを再整備する事で交通結節点としての役割を強化します。

施設全体では、街周辺への回遊起点として観光ニーズにも対応した店舗や、バスターミナルでの乗換え時間等も有意義に過ごせるよう、すき間時間のニーズにも対応した店舗を配置します。さらに、イベント等多目的に活用できるスペースを一体的に整備する事により賑わいを創出します。

南口

周辺居住者と駅利用者をターゲットとした施設として位置付けています。食品等物販店舗に加え、飲食、サービス等の用途を取り入れた生活利便性の向上に寄与する店舗を誘致し、周辺居住者にも選ばれる駅南口のシンボルとなるような施設を目指します。

また、岡崎市は徳川家康生誕の地としても知られており、市内には所縁の深い神社仏閣が多く、駅南口至近には徳川家康の産土神として有名な六所神社があります。こうした周辺施設との立地にも配慮し、動線計画を含めた施設計画を進めます。

(3)概要

	北 口	南 口
所在地	岡崎市明大寺町4丁目70他	岡崎市明大寺町字耳取14-5他
敷地面積	約6,000㎡	約1,200㎡
構造規模	鉄骨造地上8階	鉄骨造地上3階
延床面積	約13,000㎡	約3,000㎡
主要用途	商業、事務所、公益施設	商業
その他	第一種市街地再開発事業として 施行予定	—
着 工	2027年度内	2022年度内
竣 工	2029年度内	2023年度内

以上